



第275号
 編集責任 筑波大学新聞
 編集委員会 委員長 荻野祥三
 TEL: 029(853)2040・6699
 E-mail shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp
 月刊
 発行所 筑波大学
 茨城県つくば市 天王台1-1-1

1学期より評価高まる

総合科目アンケート

来年度に新授業を開設

総合科目編成委員会(委員長 金井幸雄教授・生物圏)による、平成20年度第2学期の総合科目授業評価アンケートの結果がまとまった。1学期に比べ、各項目とも評価が向上し、総合科目の改善努力が成果として表れている事実が示された。一方で、課題である履修科目の偏りは今回も見られた。

アンケート項目は全部で11項目。今学期は開講された51科目のうち、50科目で実施され、当日出席者のうち、4309人が回答した。アンケート項目のうち「この授業の内容はよく理解できた」は78・1%、「1学期75・6%」、「授業担当者の話し方に熱意が感じられた」は89・0%(同85・5%)が肯定的な回答を占めた。また、「この授業により、新しい知識や考え方が習得でき、さらに深く勉強したくなった」は81・3%(同79・3%)、「私にとってこの授業は総合的に満足できるものであった」は83・4%(同83・2%)が肯定的な回答で、1学期に比べて全体的に高かった。科目別では、「生と死を考えるー緩和医療と臨床倫理(医学開設)」、「フィードバックと緑II」食と安全から見た暮らしの安心/安全(「生質開設」)などが高い評価を受けた。とくに「生と死を考えるー緩和医療と臨床倫理」は、総合的な満足度は99・2%で、回答した全ての学生が肯定的な回答をした項目もあった。また、総合科目編成委員会開設の「卒業生によるオムニバス講座2008(社会人として生きるか)も89・3%で、昨年に続いて高い評価を得た。全体としては50科目中33科目で満足度が80%を超えた。

「この授業の内容はよく理解できた」は78・1%、「1学期75・6%」、「授業担当者の話し方に熱意が感じられた」は89・0%(同85・5%)が肯定的な回答を占めた。また、「この授業により、新しい知識や考え方が習得でき、さらに深く勉強したくなった」は81・3%(同79・3%)、「私にとってこの授業は総合的に満足できるものであった」は83・4%(同83・2%)が肯定的な回答で、1学期に比べて全体的に高かった。科目別では、「生と死を考えるー緩和医療と臨床倫理(医学開設)」、「フィードバックと緑II」食と安全から見た暮らしの安心/安全(「生質開設」)などが高い評価を受けた。とくに「生と死を考えるー緩和医療と臨床倫理」は、総合的な満足度は99・2%で、回答した全ての学生が肯定的な回答をした項目もあった。また、総合科目編成委員会開設の「卒業生によるオムニバス講座2008(社会人として生きるか)も89・3%で、昨年に続いて高い評価を得た。全体としては50科目中33科目で満足度が80%を超えた。

6922人が本学で受験
 国語の傾向変わる

本格的な受験シーズンの到来を告げる大学入試センター試験が1月17、18日に行われ、本学でも6つのエリアにある132室が試験会場となった。本学での受験者数は県内6会場の中で最も多い6922人で、昨年から124人増加した。

例年この時期には雪が降ることが多く、今年も前日まで降雪が心配されていたが、試験当日は冷え込んだものの天気が大きく開れることほなく、土浦駅から本学まで臨時運行されたバスや、電車などの交通機関に乱れはなかった。

英語リスニング試験では3人の受験者が機械の不具合を理由に再開テストを受けた。

試験開始直前の会場では、緊張した面持ちで参考書を何度も読み返す受験生や、携帯電話を何度も確認する受験生の姿が見られた。

初日の試験終了後、会場前には試験の手応えを話し合う受験生があふれ「国語の傾向が変わった」という声が多く聞かれた。

土浦市から受験に来たとする女子高校生2人組は、「最初の教科は緊張したが、次第に普段の模擬試験と同じように解けるようになっていった」と笑顔で語った。

つくば歳時記



ペDESTリアンをセンター付近から南に下ると、木立が続く地域に出る。冬の空気の中、ジョギングやサイクリング、犬の散歩を楽しむ市民や、部活帰りの中学生らが、木漏れ日浴びながら行き交っていた。この地域には学校が多く、子供をよく見かける。この中学生は、写真を撮ると笑い声を上げた。(つくば市二宮の赤塚公園付近) (撮影・齋藤肇太(比較文化学類))

連携協力に関する包括協定
 東京理科大と締結
 学術の発展目指す

本学は1月20日、東京理科大学(東京・新宿区)と連携協力に関する包括協定を締結した。同協定は学術の発展と人材育成を目的とする。本学は、近隣の千葉県野田市にキャンパスがある東京理科大と3年前から、物質・材料科学分野で共同研究を続けてきた。本学にとって他大学との包括協定は、早稲田大学に続き2例目となる。

現在、新薬の開発研究やすでに実施されている物質・材料科学分野での共同研究、本学の工学、医学分

野と理科大の薬学部との連携による若手研究者の育成など、3つの分野で具体的な連携策を検討している。

両大学は今後、連絡協議会を設ける予定。

同日、本学本部棟で開かれた調印式には、本学の岩崎洋一学長や東京理科大の塚本恒世理事長、竹内伸学長らが出席した。岩崎学長は「特色ある両大学が連携することで、ユニークで卓



協定締結後に笑顔で握手を交わす3人。左から、塚本理事長、岩崎学長、竹内理科大学長

がん予防の仕組み解明
 新治療法開発にはずみ

本学研究チーム論文発表

がんの発症を未然に防ぐ仕組みを、本学の渋谷彰教授(分子生体)と井口研子

さん(分子生体3年)らの研究チームが解明し昨年12月17日に発表、同月22日付で米の科学誌「ジャーナル・オブ・エクスペリメンタル・メディシン」に掲載された。

健康な人でも1日に3000個程度のがん細胞が体内で発生しているにもかかわらず、がんを発症しないのは、免疫機能ががん細胞を退治し、がんの発症を防いでいるから、という学説がある。これまでその具体的なメカニズムは分かっていたが、

渋谷教授らの研究チームでは、免疫細胞の表面にできる物質「DNAM1」が、

がん細胞上の別の物質と結合する性質を持つことに注目。DNAM1を体内で作ることができないマウスを作り、線維肉腫などの原因となる発がん性物質を与えると、通常のマウスに比べ2倍ほど高い確率でがんを発症することを確かめた。これにより「DNAM1を介して免疫機能ががんの発症を未然に防いでいることが証明された。

これまでも試験管での実験で免疫機能ががん細胞を殺すときDNAM1が重要な役割を担っていることが分かっていたが、その仕組みが解明されたことにより、がんの予防や治療に効果的な新しい免疫療法の開発につながる可能性がある。渋谷教授は「生まれつき免疫の弱い人や、免疫の弱っている人にも効果的な薬ができるかもしれない」と話す。

臨床医として現場で働いた経験を持つ渋谷教授は「研究の成果を出せうれしい。これからもその成果が多くなるよう研究を続けていきたい」と話した。

「最初の教科は緊張したが、次第に普段の模擬試験と同じように解けるようになっていった」と笑顔で語った。

「鬼」には「死者の靈魂」などという意味がある。その一方で、日本固有の平仮名の「おに」には「隠(おん)」という読みが転じたことから「姿が見えない」という意味がある▼なるほど、「鬼」は姿を見せずに、気がついていたら宿っているのだから。私たち大学生の心のすき間にはいつも小さな「鬼」がいる。授業への遅刻やサボリ、居眠り。過度な飲酒や煙草のポイ捨て。さまざまな誘惑が多い自由な学生生活の中で、「鬼」の甘言はたいへん魅力的だ。時には悪い道へと案内されるかもしれない▼「自己」という外に隠れる「鬼」。この春こそ、二つの「オニ」へ手をぶつけて追っ払ってみてはどうだろうか。自分の身を守るものは自分の確固たる意志だけだ。心のすき間にはいつも暖かい陽光が差し込んでいてほしい。

毎年、この節分の時期になると鬼のお面が付いた豆がスパーの棚に並び、節分といえどもやはり豆まきである。鬼に豆をぶつけることで邪気を払い、1年間の無病息災を願う風習だ。日本人にとって「鬼」とはよく「異形で恐ろしい、害をなす存在」と描かれるため、悪のイメージが強く忌み嫌われてきた▼しかし、鬼が持つ意味はそれだけではない。中国由来の漢字で「鬼」には「死者の靈魂」などという意味がある。その一方で、日本固有の平仮名の「おに」には「隠(おん)」という読みが転じたことから「姿が見えない」という意味がある▼なるほど、「鬼」は姿を見せずに、気がついていたら宿っているのだから。私たち大学生の心のすき間にはいつも小さな「鬼」がいる。授業への遅刻やサボリ、居眠り。過度な飲酒や煙草のポイ捨て。さまざまな誘惑が多い自由な学生生活の中で、「鬼」の甘言はたいへん魅力的だ。時には悪い道へと案内されるかもしれない▼「自己」という外に隠れる「鬼」。この春こそ、二つの「オニ」へ手をぶつけて追っ払ってみてはどうだろうか。自分の身を守るものは自分の確固たる意志だけだ。心のすき間にはいつも暖かい陽光が差し込んでいてほしい。

紙面から

岩崎洋一学長インタビュー
 「科学の芽」賞 23作品を表彰
 蹴球部 全国大学選手権 準優勝
 柔道 嘉納杯 秋元、福見が優勝
 卒業生の生活用品をリサイクル
 体芸食堂南庭リニューアル計画

11 10 9 8 2 2

特集 6,7
 旅立つアスリート
 新たな舞台へ飛び立つ

ミニ特集 3
 退職教員
 4人の教授が歩んだ道

の学群でも、文系学群では理系学群の、理系学群では文系学群の開講科目の履修率が低い傾向が表れた。

今回の結果について、金井教授は「学生の立場に立った科目は評価が高い傾向が出ている。履修の偏りについては、興味・関心のある分野の科目を取るの自然だと思っているが、教養を身に付けてもらうためにも、異分野への興味を引

き出すのが課題」と話した。総合科目編成委員会では、来年度から文系の学生向けに「現代人の科学I、II、III(仮称)」を新たに開設する。社会に出るうえで最低限の科学的知識を身に付けてもらうのが狙いだ。開設母体は未定だが、授業は理系学群の教員が共同で行い、Iでは物理学を、IIでは地学と化学を、IIIでは生物学を取り扱う。

筑波お孔

毎年、この節分の時期になると鬼のお面が付いた豆がスパーの棚に並び、節分といえどもやはり豆まきである。鬼に豆をぶつけることで邪気を払い、1年間の無病息災を願う風習だ。日本人にとって「鬼」とはよく「異形で恐ろしい、害をなす存在」と描かれるため、悪のイメージが強く忌み嫌われてきた▼しかし、鬼が持つ意味はそれだけではない。中国由来の漢字で「鬼」には「死者の靈魂」などという意味がある。その一方で、日本固有の平仮名の「おに」には「隠(おん)」という読みが転じたことから「姿が見えない」という意味がある▼なるほど、「鬼」は姿を見せずに、気がついていたら宿っているのだから。私たち大学生の心のすき間にはいつも小さな「鬼」がいる。授業への遅刻やサボリ、居眠り。過度な飲酒や煙草のポイ捨て。さまざまな誘惑が多い自由な学生生活の中で、「鬼」の甘言はたいへん魅力的だ。時には悪い道へと案内されるかもしれない▼「自己」という外に隠れる「鬼」。この春こそ、二つの「オニ」へ手をぶつけて追っ払ってみてはどうだろうか。自分の身を守るものは自分の確固たる意志だけだ。心のすき間にはいつも暖かい陽光が差し込んでいてほしい。

岩崎学長インタビュー

法人の基盤づくりに成果

根源的問い持ち続けて

筑波大生への期待



インタビューに答える岩崎学長

2004年度から本学の1学長が、3月31日をもって学長を務めていた岩崎洋一(任期満了)となる。国立大学

法人化、学群改組など、大きな変革期の中にあつた5年間、本学はどのように変わったのか。岩崎学長と共にその軌跡を振り返った。(本紙・高橋俊樹II社会学類)

「5年間を振り返って。まずは、大学を支えてくれている構成員に感謝したい。」

「学群改組への取り組みの中で、記憶に残っていることは、開学から10年後にはすでに改革が必要とされていた。大学の基本となる組織を変更することになる」

「それ以外に印象に残っている取り組みは、学生の視点に立った改革に取り組めたことだ。スチューデントプラザの設立はその象徴であり、学生が最も訪れやすい場所で、教職員が一体となって学生の対応が出来る場を作れたのが良かったと思う。また、つくばエクスペリエンスの開設も、学内新交通システムを導入し、大学へのアクセスや学内移動の利便性を大幅に高めることができた。」

朝永振一郎記念「科学の芽」賞

小・中・高23作品を表彰

海外からの応募も

朝永振一郎記念第3回「科学の芽」賞の表彰式。発表会が、昨年12月20日、本学大会館特別会議室で開催された。

今回は海外2カ国の日本人学校を含め、全国から小・中・高校生部門合わせて1248件の応募があつた。その中から23の作品が「科学の芽」賞を受賞し、岩崎洋一学長が受賞者に表彰状と記念品を手渡した。式には関係者約100人が出席した。



岩崎学長から賞状をもちつう生徒(大会館にて)

「科学の芽」と題して、前の受賞研究も同じ栗の木自宅の庭に植わっている栗を題材にしたもので、8年の木の研究を発表した。以にわたり研究を続けてい

筑波大学生涯学習支援研究会

本学の支援を紹介する 発表にも障害者への配慮

第1回筑波大学生涯学習支援研究会が、大会館国際会議室で1月26日に行われた。昨年度設置された障害者学習支援室が本学で特

発表に際して、発表者の傍らで手話通訳者が配置されていることや、発表パネルの他に、発表者の言葉を要約した内容を記した、ネールが設置されるなど、聴覚障害者への配慮もなされていた。また、点字を用いた本学の障害者支援に関する資料を同封するなど、視覚障害者に対する配慮も見られた。



質疑応答の一場面(大会館にて)

研究会は上藤典雄副学長(教育担当)による開会のあいさつから始まり、障害者支援の歴史や、障害者支援の目的など、本学の障害者支援体制の概要についての説明が実施された。その後は「視覚障害学生の情報処理(実習)授業について」や「聴覚障害のコミュニケーションプログラム」など、4つのテーマについて教員や学生による発表が行

わられた。各発表には5分間の質疑応答があり、積極的な議論が行われ、会場は盛り上がった。

柳田邦男氏が基調講演

医療従事者ら議論交わす



がん医療について話すパネラー

がん医療従事者のためのシンポジウム(主催II本学)が1月21日、つくば国際会議場で催された。シンポジウムは2部構成で行われ、第一部では、フィクション作家の柳田邦男氏が「がん医療従事者」をテーマに講演した。また、第二部では「がん医療従事者に求められるもの」をテーマに患者を含めた医療関係者らによるパネルディスカッションが行われた。

倍率上がる

昨年よりも

つくば地区の平砂、追越一ノ矢の学群生、院生を対象にした一般単身用個室の入居抽選が昨年12月5日、6日に平砂共用棟管理事務所で行われた。

昨年よりも男子、女子共に倍率が大幅に上がり、入居許可数にあまり変動がなかったことから、留学生を含む入居希望者が多くなつたとみられる。つくば地区の男子は2.64倍(前年比1.65倍)、女子は3.55倍(同2.36倍)。

1974年シカゴ大神学

1946年東京帝国大農学部卒。51年東京教育大京農業教育専門学校講師

52年同校助教授、63年教授。65年東京大農学部、76年本学農林工学系教授

87年退職、同年名誉教授。2000年勲三等旭日中級章授賞。

岸上定男氏(きしがみ・さだお)日本学名義教授。昨

1946年東京帝国大農学部卒。51年東京教育大京農業教育専門学校講師

退職教員インタビュー

今年も40人の教員が退職する。学問に限らず、教えられたことは数多い。今回は、4人の退職教員の今持っている思いに迫った。(本紙・松本典子・人文文学類、牛尾仁実・高橋俊樹・社会学類、宇治田輝之・国際総合学類)

「チームの輝き」に感動



大西武三教授 (ハンドボール方法論)

なく、知識に飢えていたというだけあり、当時出版されていたスポーツ関連の本は、種目を問わずどんなものでも読んでいた。大西教授の「文武合一」という言葉は、この経験から生まれた。「文武両道」と「知行合一」を併せた言葉で、「スポーツの動きには必ず理論がある。勘に頼っても理論だけでもだめ」という意味だ。本学、

東京教育大の院生時代に、当時同大の3年生だった河村レイ子教授(体育・現本学女子ハンドボール部部長)との原案を見た。一人ひとりの力はそう高くなく、協力し合うことで格上のチームに勝つという喜びをくれてあげると、大西教授の目には、色のチームだったが、2年目のインカレでは見事3位の魅力だ。個人の力すら、

入賞を果たした。「やればできる」ということを確信した河村レイ子教授(体育・現本学女子ハンドボール部部長)との原案を見た。一人ひとりの力はそう高くなく、協力し合うことで格上のチームに勝つという喜びをくれてあげると、大西教授の目には、色のチームだったが、2年目のインカレでは見事3位の魅力だ。個人の力すら、

「初恋の味は白いなっちゃん」とレポに書いた女。お前達の恋は「発酵」したか。乳酸菌と乳糖飲料との差異が分かって卒業しているか。これからは、時代を支える「生み」を生きて。生み出しと思考を「発酵」させて生きて。2月27日発行予定思想史研究の軌跡より

【ヒジメス研究科】
◇平林英勝「入札談話と公取委」3月14日午後3時10分、東京キャンパス大塚地区G304
◇秋山幹男「私の弁護士活動と表現の自由・知る権利」3月7日午後3時、東京キャンパス秋葉原地区秋葉原ダイビル14階講義室3
【数理工学系研究科】
◇赤平昌文「数理統計学の旅人」3月13日午後3時半、1H201
◇名取研二「半導体と共に、30年」DRAM開発からナノ・トランジスタ解析へ」3月10日午後3時、3A204
◇佐々木建昭「闘い続ける18年」3月14日午後3時、1H201
【生命環境科学研究科】
◇吉田廣「3月3日午後5時半 臨床講義室A※テーマは未定

◇永本正和「気持ちは何時も、心情を同じへ、そして情熱と執着」2月20日午後3時15分、総合研究棟A棟111
◇酒井慎吾「植物ホルモンに魅せられて」2月14日午後1時、2H101
◇徳増征二「菌類の見えない世界を探求して」2月14日午後3時、2H101
【人間総合科学研究科】
◇平山海義「質的研究法による教師効果研究」3月13日午後1時、大学会館国際会議室※なお、当日はペスタロッツキ祭のため、谷川彰英副学長、堀和郎教授も講義予定。
◇奥野英子「障害者福祉と社会」ハビリーション」2月24日午後6時20分、東京キャンパスG501、「社会リハビリテーション」と社会生活力支援」3月7日午後4時、大学会館国際会議室
◇田上二夫「カウゼルングと私」過去・現在・そして未来へ」3月6日午後6時半、東京キャンパスG501
◇村木征人「消えない足跡を辿って」未来への道しるべ」2月28日午後1時、5C216
◇阿部生雄「近代スポーツマンシップの誕生」2月20日午後3時15分、5C213

トップを目指す姿勢を



水林博副学長 (ナノ構造物質)

水林博副学長(研究担当)の研究者としての原動力は、幼少期に長岡半太郎の原子模型について書いた児童書を読んだことにある。その後東北大学に進学し、研究者の道を志すと、同大学院を経て日本原子力研究所に就職した。そして当時の上司であり、教授として本学に赴任することが決まっていた故奥田重雄研究室長に誘われ、1978年に着任した。当時の研究室はがらんとしていて何もなく、実験装置なども一から製作しなければならなかった。水林副学長は当時の苦労を語る。

水林副学長が専門としたナノ構造物質研究とは、ナノメートル(1ミリの100万分の1)単位という非常に小さな物質の構造を研究するもの。「ナノ構造材料研究は、実験の副産物から次々と新しい発見があるのが面白い」と話

水林副学長は専門としたナノ構造物質研究とは、ナノメートル(1ミリの100万分の1)単位という非常に小さな物質の構造を研究するもの。「ナノ構造材料研究は、実験の副産物から次々と新しい発見があるのが面白い」と話

水林副学長は専門としたナノ構造物質研究とは、ナノメートル(1ミリの100万分の1)単位という非常に小さな物質の構造を研究するもの。「ナノ構造材料研究は、実験の副産物から次々と新しい発見があるのが面白い」と話

水林副学長は専門としたナノ構造物質研究とは、ナノメートル(1ミリの100万分の1)単位という非常に小さな物質の構造を研究するもの。「ナノ構造材料研究は、実験の副産物から次々と新しい発見があるのが面白い」と話

水林副学長は専門としたナノ構造物質研究とは、ナノメートル(1ミリの100万分の1)単位という非常に小さな物質の構造を研究するもの。「ナノ構造材料研究は、実験の副産物から次々と新しい発見があるのが面白い」と話

水林副学長は専門としたナノ構造物質研究とは、ナノメートル(1ミリの100万分の1)単位という非常に小さな物質の構造を研究するもの。「ナノ構造材料研究は、実験の副産物から次々と新しい発見があるのが面白い」と話

詩に自分の思いを託す

思想史は「詩想史」として、なだ一行に結集する。思想史は「詩想史」として、なだ一行に結集する。思想史は「詩想史」として、なだ一行に結集する。思想史は「詩想史」として、なだ一行に結集する。

思想史は「詩想史」として、なだ一行に結集する。思想史は「詩想史」として、なだ一行に結集する。思想史は「詩想史」として、なだ一行に結集する。思想史は「詩想史」として、なだ一行に結集する。

思想史は「詩想史」として、なだ一行に結集する。思想史は「詩想史」として、なだ一行に結集する。思想史は「詩想史」として、なだ一行に結集する。思想史は「詩想史」として、なだ一行に結集する。

思想史は「詩想史」として、なだ一行に結集する。思想史は「詩想史」として、なだ一行に結集する。思想史は「詩想史」として、なだ一行に結集する。思想史は「詩想史」として、なだ一行に結集する。

最終講義

◇永本正和「気持ちは何時も、心情を同じへ、そして情熱と執着」2月20日午後3時15分、総合研究棟A棟111
◇酒井慎吾「植物ホルモンに魅せられて」2月14日午後1時、2H101
◇徳増征二「菌類の見えない世界を探求して」2月14日午後3時、2H101
【人間総合科学研究科】
◇平山海義「質的研究法による教師効果研究」3月13日午後1時、大学会館国際会議室※なお、当日はペスタロッツキ祭のため、谷川彰英副学長、堀和郎教授も講義予定。
◇奥野英子「障害者福祉と社会」ハビリーション」2月24日午後6時20分、東京キャンパスG501、「社会リハビリテーション」と社会生活力支援」3月7日午後4時、大学会館国際会議室
◇田上二夫「カウゼルングと私」過去・現在・そして未来へ」3月6日午後6時半、東京キャンパスG501
◇村木征人「消えない足跡を辿って」未来への道しるべ」2月28日午後1時、5C216
◇阿部生雄「近代スポーツマンシップの誕生」2月20日午後3時15分、5C213

池田元教授 (日本政治思想史)

池田元教授ご本人の希望により詩のみを掲載しました。

水林博副学長(研究担当)の研究者としての原動力は、幼少期に長岡半太郎の原子模型について書いた児童書を読んだことにある。その後東北大学に進学し、研究者の道を志すと、同大学院を経て日本原子力研究所に就職した。そして当時の上司であり、教授として本学に赴任することが決まっていた故奥田重雄研究室長に誘われ、1978年に着任した。当時の研究室はがらんとしていて何もなく、実験装置なども一から製作しなければならなかった。水林副学長は当時の苦労を語る。

水林副学長が専門としたナノ構造物質研究とは、ナノメートル(1ミリの100万分の1)単位という非常に小さな物質の構造を研究するもの。「ナノ構造材料研究は、実験の副産物から次々と新しい発見があるのが面白い」と話

水林副学長が専門としたナノ構造物質研究とは、ナノメートル(1ミリの100万分の1)単位という非常に小さな物質の構造を研究するもの。「ナノ構造材料研究は、実験の副産物から次々と新しい発見があるのが面白い」と話

小林典子教授 (日本語教育学)

小林典子教授は「アメリカ」で研究

小林典子教授は「アメリカ」で研究

小林典子教授は「アメリカ」で研究

反射鏡

芸人から学ぶ
ぶれない心

河相健二(社工2年)

僕にはあこがれている有名な人がいます。ふかわりょさんというタレントの方です。ご存じの方も多いかと思いますが、独特なマッシュルームカットとシュールなネタが魅力的な人です。将来、芸能人になりたいと思っているわけではなく、ふかわさんが、ふかわさんの生き方には参考にしたいところがある。と、ふかわりょさんについて思っています。卒業まで

にふかわさんのような「ぶれない心」を手に入れたらいいです。
2つ目は「芸に秀でていく」ということです。
最初にふかわさんの芸を見たとき、言葉や動きのすべてが自分の心に刺さってきたのを今でも覚えています。

今月のテーマ

「私の目指す人」



先輩からの言葉
部を担う決意

宮代夢子(医学1年)

筑波大学に入学し、医学部硬式テニス部に所属して1年が経ちました。この1年間で部活から得られたものは非常に大きい。ここで

回想の架け橋
疾風のごとく
与那覇和人(国総1年)

去年の暮れのこと、諸事忙しで実家に帰らなかった私。大晦日はいつもと違う心

は同じくくぼに残っている友人と共に新年を迎えようとしていた。例年家族と一緒に今年の労をねぎら

入学当初、辛かった痕。時代を脱し新たな大学生活

私の所属する医学硬式テニス部の特色を挙げたい。

短い間にさまざまなことが出来事が終わるたび、達成感とともに満足に成し遂げられなかった悔しさも経験

また伝統的な文化と現代の文化との違いも感じている。漫画やアニメだけでなくカラオケやホステスクラブは世界中によく知られてい

性だけでなくメイドの下着を着ている女性やパンクの髪形をしている男性をいくらかで見られる。けれど不思議なことに社会人になった人

確かに日本人にとって私が書いたことは当たり前に感じると思うけれども、やはり外国人の目に見た日本人の生活は不思議で面白いようにある。けれど違っている。例えば日本は海外の人にとって魅力的に感じると信じている。私もこれらも日本の生活を実験してみ、私の文化とのせげん違

筑波時評

世界はアメリカのオバマ大統領の華やかな就任式の模様を、期待をこめて見守っているが、その最中にも、ガザではイスラエル軍による攻撃で傷ついたり子供たちが次々と命を落としている。1月18日にイスラエルは一方的な停戦を宣言し、またハマース側も条件つきながら即時停戦に応じたが、いつ攻撃が再開されるかわからない不安定な状況にある。

ガザ 不安定な状況変わらず オバマ新大統領に期待



塩尻和子

ここから始まっている。パレスティナで民主的な総選挙によって議席を獲得したハマースに

ハマースはパレスティナ・ムスリム同胞団の一派として1987年に設立された。故アラファートの率いるファタハが極

ハマースはパレスティナ・ムスリム同胞団の一派として1987年に設立された。故アラファートの率いるファタハが極

ハマースはパレスティナ・ムスリム同胞団の一派として1987年に設立された。故アラファートの率いるファタハが極

ハマースはパレスティナ・ムスリム同胞団の一派として1987年に設立された。故アラファートの率いるファタハが極

ハマースはパレスティナ・ムスリム同胞団の一派として1987年に設立された。故アラファートの率いるファタハが極

ガザは地中海に面した回廊のような地域で362平方キロメートルの狭い土地の6割に約150万人が住む。1993年のイスラエル

から切り離されたかたちで自治が認められた。現在でもパレスティナは暫定的に自治が認められているだけであり、いまだにイスラエルによる「占領下」に置かれていることには、かわりはない。1948年のイスラエル共和国の建国から今

めて政治的世俗的であったのに対して、ハマースは宗教的な広域活動を展開するグループであり、当初から政治活動や武装闘争だけでなく、ファタハが一顧だしなかった住民の福祉や教育の向上に重点をおく社会改革を目指していた。そのため

にはここから始まっている。パレスティナで民主的な総選挙によって議席を獲得したハマースに

ハマースはパレスティナ・ムスリム同胞団の一派として1987年に設立された。故アラファートの率いるファタハが極

ハマースはパレスティナ・ムスリム同胞団の一派として1987年に設立された。故アラファートの率いるファタハが極

ハマースはパレスティナ・ムスリム同胞団の一派として1987年に設立された。故アラファートの率いるファタハが極

ハマースはパレスティナ・ムスリム同胞団の一派として1987年に設立された。故アラファートの率いるファタハが極

ハマースはパレスティナ・ムスリム同胞団の一派として1987年に設立された。故アラファートの率いるファタハが極

ハマースはパレスティナ・ムスリム同胞団の一派として1987年に設立された。故アラファートの率いるファタハが極

留学生の目



ターニャ・アシェニチナヤ

皆さん、こんにちは。私はベラルーシから参ったターニャと申します。ベラルーシという国はヨーロッパのちょうど真ん中にあるロシアやポーランドと同じ国境を

私は面白くないと思っいる。建築に興味を持っていても日本人の家の写真も撮っていない。

また伝統的な文化と現代の文化との違いも感じている。漫画やアニメだけでなくカラオケやホステスクラブは世界中によく知られてい

性だけでなくメイドの下着を着ている女性やパンクの髪形をしている男性をいくらかで見られる。けれど不思議なことに社会人になった人



日本の文化に驚く

私たちは真面目で地味な服を着て遅くまで残業をしたり始める。そして日本でお正月を過ごし、その過ごし方に本当に驚いた。日本人の文化とのせげん違っている。例えば日本は海外の人にとって魅力的に感じると信じている。私もこれらも日本の生活を実験してみ、私の文化とのせげん違

皆さん、こんにちは。私はベラルーシから参ったターニャと申します。ベラルーシという国はヨーロッパのちょうど真ん中にあるロシアやポーランドと同じ国境を

私は面白くないと思っいる。建築に興味を持っていても日本人の家の写真も撮っていない。

また伝統的な文化と現代の文化との違いも感じている。漫画やアニメだけでなくカラオケやホステスクラブは世界中によく知られてい

性だけでなくメイドの下着を着ている女性やパンクの髪形をしている男性をいくらかで見られる。けれど不思議なことに社会人になった人

クリスマスコンサート

芸サ連12サークルが出演

練習の成果を披露

他団体とのコラボ演奏も

芸サ連の所属サークルが今年もクリスマスコンサートを開催し、12のサークルが出演した。ギター・マンドリン部とピアノ愛好会による「弦楽楽団」や、ときめき太鼓塾と



ミュージカル集団ESSASAによる「ときめきSSA」や「ときめきSSA」など、普段は見ることのできないコラボレーション発表なども見られた。「ときめきESSASA」では、人形たちの世界を舞台にときめき太鼓塾のメンバーがミュージカルにも挑戦し、力強い和太鼓のリズムとダンスが融合した舞台となった。

大きな作品の作品展目立つ 暁5枚分の洋画も

DC展

本学の人間総合科学研究科芸術専攻のうち、洋画・日本画・彫塑・書の博士後期課程の学生ら19人による第5回DC展が昨年12月23日〜28日と1月2〜4日の9日間、茨城県つくば美術館（つくば市吾妻）で開かれ、DC展は、人間総合科学研究科の学生が1年の成果を発表する場だ。自作の洋画・彫刻・書画を制作し、自分の作品を通して形にするのを目的としている。今回の作品展は各分野の教員の指導の下、学生によって準備が進められた。今年も例年より参加人数

随所に趣向を凝らす 専攻以外の学生も出展

クラフト領域展覧会が昨年12月18〜24日に総合交流会館多目的ホールで開かれた。会場には約540人が訪れた。芸専専攻クラフト領域の学生のみならず、他学類で、クラフト領域の授業を履修している学生の作品も展示された。皿や花瓶といった焼き物の他に、ガラス細工や天井から吊り下げる大型の作品まで、さまざまな展示を見ることが出来た。触れることができる作品や叩くと音の出る作品など、趣向を凝らしたのも見られた。会場を訪れた国際総合学類3年の女子学生は



焼き物を鑑賞する来場者(総合交流会館)

「同じ学類の友人の作品を授業を取りたいと思った。来年私も芸専のと話した。」 Heo Byung Chan 映像展 日常の風景を再確認 約30人が訪れる Heo Byung Chan は、この映像展を開いた理由を「普段あまり見ない理由を「普段あまり見ている日常の風景をみんなと一緒に楽しみたい」と話した。

原 点 GEN-TEN

8歳の頃剣道に出会い、そして今日まで剣道を続けて来られた事に感謝している。2005年11月に全日本剣道選手権に10回目の出場を果たしたものの、2回戦敗退。その翌年の予選で負けた事で一応の区切りをつけた。剣道で引退はないので、「選手権挑戦の引退」である。

大きな原因は、まずは動きとして集中力である。試合にコンディションを合わせるためには鍛錬期で体をいじめて、試合が近づくと徐々に軽めに調整するのであるが、いい状態であれば鍛錬期で疲れてきた中で、体が反応して良い技が自然に出てくる。しかし、稽古を積んでも疲労が溜まると一向に良い技が出ない。この状態で調整してもヒートは迎えられないのである。体がいい状態では、やはり集中力も欠けている。この頃は怪我也多く

基本の構えの大切さ痛感 再び選手権出場を目指す

しまった程であった。感覚に合わせて体を動かしている怪我をする。辛いのは感覚で打てる場面、「スレ」があり、相手を打ち損じてしまう事で、もっと辛いのは、どうも怪我也しくなっていた。大会に出場するに必要なのは、勝つ必要はあるが、予選、強化のための練習試合、本戦と試合をこなしたが、この2年間に負けたのは数回で、怪我也しくなっていた。



鍋山 隆弘

だが、これは構えと相手が攻め崩れてから技を出さないという教えで、私はまさに打って勝とうとしていたのではないかと感じる。剣道でしっかりと構える

地球外の視点から見る世界



逢坂 卓郎

1969年7月20日、アポロ11号が月面着陸し、人類が初めて地球外の星へ降り立った日は私の大学1年の夏休みの初日でした。多くのクラスメイトが家に遊びに来ていて月からの実況放送を固唾を飲んで見ていた事を鮮明に覚えています。その1年前の12月24日のクリスマスイブに、アポロ8号が月の地平から昇ってくる「地球の出生」の写真を送ってきました。

地球外の視点から見る世界

POWERS OF TEN

宇宙・人間・素粒子をめぐる大きさの旅

著者 フィリップ・モリソン、チャールズ・イームズ 訳者 村上陽一郎・公子

「地球の出生」の1枚の写真を送ってきました。多様な雲の流動、太陽を持つ美しい青い地球の姿は、多くの人々を感動させた。この1冊を推薦したい。

この映画展では、追越学命「宇宙」をテーマにした作品を発表していた私は、2001年から「宇宙」における芸術の可能性についてJAXAと共同研究を始める事になりました。その成果として2008年の9月に「国際宇宙ステーション」で水球漂した絵画の芸術実験を実施しました。この8年の間に、日本の宇宙飛行士全員の飛行士全員とインタビューを重ね、地球外から見た風景、新しいモラル、新たな世界観、これからの人類の進むべき道を真剣に考える機会になりました。(芸術・教授)

新たな舞台へ飛び立つ!

今年も顕著な実績を残したアスリート達が、本学を卒業する時が来た。彼らの道は必ずしも順風満帆だったわけではないが、筑波で学んだことも少なくない。その学びを胸に、それぞれがまた新たな舞台へと旅立っていく。(本紙・雪丸千彩子、人文学類、磯野潤、牛尾仁美、馬野裕子、社会学類、柏零、社会学類)



高橋恵 (ハンド)

目標への姿勢を自ら示す 実力派チームの大黒柱

本学女子ハンドボール部は昨年開催された秋季リーグ戦、インカレを制し、国体では初の準優勝、全日本総合でも3位と健闘した。実業団と同等に戦える実力派チームを、主将として率いてきた高橋恵(体専4年)がこの春、新たな舞台へと旅立つ。

高橋は、「実業団に通用するチームになることを目指している」と話す。春のリーグ戦では、3年連続で優勝し、チームの士気を高めた。高橋は、この春、新たな舞台へと旅立つ。



坪井俊樹 (野球)

大切な仲間を得た大学時代 プロで憧れられる存在に

本学から7人目のプロ野球選手が誕生した。坪井俊樹(体専4年)だ。今春から千葉ロッテマリーンズで投手としてプレーする。

しかし、本学入学当初はプロへの道を考えていなかった。「野球の力が十分で、指導者を目指していた」と坪井は当時を振り返る。だが、次第に先発で使われるようになる。実力が向上し自信もつき、選手として野球を続けたいと考えるようになったという。

本学入学後、バットや選手の体格など、それまでの野球と大学野球のさまざまな違いを感じた。しかしそれよりも、「周りに流されぬよう、新しい風を吹き込みたい」と坪井は語る。

プロ野球の投手の層が厚く、同じく投手の坪井にとっては厳しい環境だ。しかし、「プロで活躍したい」という強い思いが、目標を掲げ、頑張ることができた。目標が、頑張ることができた。目標が、頑張ることができた。

高橋恵は、ハンドボール部の実力派チームの大黒柱として活躍してきた。彼女は、チームの士気を高めた。高橋は、この春、新たな舞台へと旅立つ。

高橋は、「実業団に通用するチームになることを目指している」と話す。春のリーグ戦では、3年連続で優勝し、チームの士気を高めた。高橋は、この春、新たな舞台へと旅立つ。

今季ブレイクした点取り屋 スピード武器にJの舞台へ



木島悠 (サッカー)

女子剣道部主将の菊池愛力(体専4年)が、この春、新たな舞台へと旅立つ。彼女は、チームの士気を高めた。菊池は、この春、新たな舞台へと旅立つ。

菊池は、「実業団に通用するチームになることを目指している」と話す。春のリーグ戦では、3年連続で優勝し、チームの士気を高めた。菊池は、この春、新たな舞台へと旅立つ。

木島悠は、サッカー部のスピード武器として活躍してきた。彼は、チームの士気を高めた。木島は、この春、新たな舞台へと旅立つ。

木島は、「実業団に通用するチームになることを目指している」と話す。春のリーグ戦では、3年連続で優勝し、チームの士気を高めた。木島は、この春、新たな舞台へと旅立つ。

期待に応えた日本一 指導を通して恩返しを



菊池愛力 (剣道)

女子剣道部主将の菊池愛力(体専4年)が、この春、新たな舞台へと旅立つ。彼女は、チームの士気を高めた。菊池は、この春、新たな舞台へと旅立つ。

菊池は、「実業団に通用するチームになることを目指している」と話す。春のリーグ戦では、3年連続で優勝し、チームの士気を高めた。菊池は、この春、新たな舞台へと旅立つ。

菊池愛力は、剣道部の指導を通して恩返しをした。彼女は、チームの士気を高めた。菊池は、この春、新たな舞台へと旅立つ。

菊池は、「実業団に通用するチームになることを目指している」と話す。春のリーグ戦では、3年連続で優勝し、チームの士気を高めた。菊池は、この春、新たな舞台へと旅立つ。

旅立つアスリート

自身を変えた恩師の言葉 ためまぬ努力で目標へ



秋元希星 (柔道)

「努力すれば結果は必ずついてくる。長い間ためまぬ努力を続け、結果を出してきたからこそ言える言葉が振るわず、低迷ぶりが目立った。しかし、その間も腐らずに努力を続けた。立ち向かわなければならぬ。これからの目標と向かっていかなければならぬ。」と話す。

高校ではメンタルトレーニングを取り入れ、インナーハイ優勝の実績を残した。だが、大学入学後は成績が振るわず、低迷ぶりが目立った。しかし、その間も腐らずに努力を続けた。立ち向かわなければならぬ。これからの目標と向かっていかなければならぬ。」と話す。

「昨年、講道館杯、嘉納治五郎杯の60キロ級優勝を果した秋元希星(体専4年)。60キロ級は機敏な動きの中で隙を付く柔道をすゝる選手が多い。その中に有

た。当時はあまり積極的に取り組んでいいた訳ではなかったが、中学2年のときに転機を迎える。中学2年の新人戦で敗れたことに「悔しさ」を覚えたのだ。その後も躍進し、多くの大会で好成績をあげた。



岡崎晃一郎 (水泳)

「日本一」支えたライバル

自分を超えてロンドンへ

競泳で日本が最も得意とする平泳ぎのニューヒーローが、本学から誕生するかも。06年のインカレで100メートル、200メートルの2冠を達成した岡崎晃一郎(体専4年)は、ロンドンオリンピックを目指している。

「3位という成績を残した岡崎が本学に入学したのは、入学当初は、厳しい練習に慣れることが出来ず、「きつかった」と振り返る。岡崎を4年間にわたって支えてきたのは、ライバルの存在だった。同学生には、インターハイ3連覇を成し遂げた佐藤佑樹(体専4年)が、日本中を沸かすくらい平泳ぎの選手が3人。共に、

「2に競い合えたことが良かった」と語る。世界記録保持者、北島康介(コカコーラ)の存在も大きかった。「康介さんに泳の代表には選ばれず、悔しさも残った。」と話す。当時の岡崎は、泳ぐたびにベストを更新していた。卒業後はオリンピック選手と感したそう。



関節が炎症を起して進行すると日常の動作にも激痛を伴うようになるリウマチ。これまで早期発見は難しかった。本学の巨瀬勝美教授(電物)と平田晋也さん

新型MRI CompactScan

リウマチ治療に新しい風 楽な姿勢で確かな診断

従来のMRIでもリウマチの診断はできた。だが設置している医療施設が少なく、扱いに熟練したスタッフも少ないなど問題点が多かった。新型MRI、「CompactScan」の最大の特徴は、小さく使

従来のMRIでもリウマチの診断はできた。だが設置している医療施設が少なく、扱いに熟練したスタッフも少ないなど問題点が多かった。新型MRI、「CompactScan」の最大の特徴は、小さく使

の特長は、小さく使いやすさだ。撮影の対象を患者の手に絞り込み、電磁波の影響を避ける「シールドルーム」を不要にすることで小型化。設置コストを大幅に下げた。手だけを撮影するので、従来のMRIのように患者が長時間つらい姿に

の特長は、小さく使いやすさだ。撮影の対象を患者の手に絞り込み、電磁波の影響を避ける「シールドルーム」を不要にすることで小型化。設置コストを大幅に下げた。手だけを撮影するので、従来のMRIのように患者が長時間つらい姿に



卒業生からの手紙

私は筑波大学を卒業して、三井住友銀行に就職し、現在法人を担当している。それと同時に、私は硬式野球クラブ、Tsukuba Clubを立ち上げ、監督をしている。野球を通して、夢

の全国大会を見に行っただ。そこで、涙が出るくらい熱い試合を見た。自分の見ている世界は少しずつ変わっていく。現在、銀行員の職務は、法人の企業価値向上のために銀行が出来るサポートをするということ。私は、創業者の思いが形となっている企業の夢や目標をさらに膨らませ、実現させていく手伝いをしたい。また、Tsukuba Clubの監督としてクラブの夢や選手の夢を叶えていきたい。これが今の私の夢でもある。

私は筑波大学を卒業して、三井住友銀行に就職し、現在法人を担当している。それと同時に、私は硬式野球クラブ、Tsukuba Clubを立ち上げ、監督をしている。野球を通して、夢

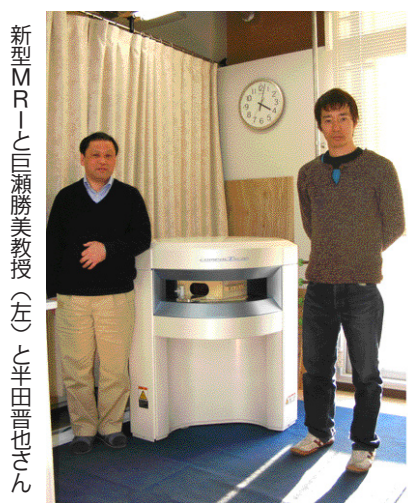
の全国大会を見に行っただ。そこで、涙が出るくらい熱い試合を見た。自分の見ている世界は少しずつ変わっていく。現在、銀行員の職務は、法人の企業価値向上のために銀行が出来るサポートをするということ。私は、創業者の思いが形となっている企業の夢や目標をさらに膨らませ、実現させていく手伝いをしたい。また、Tsukuba Clubの監督としてクラブの夢や選手の夢を叶えていきたい。これが今の私の夢でもある。

の全国大会を見に行っただ。そこで、涙が出るくらい熱い試合を見た。自分の見ている世界は少しずつ変わっていく。現在、銀行員の職務は、法人の企業価値向上のために銀行が出来るサポートをするということ。私は、創業者の思いが形となっている企業の夢や目標をさらに膨らませ、実現させていく手伝いをしたい。また、Tsukuba Clubの監督としてクラブの夢や選手の夢を叶えていきたい。これが今の私の夢でもある。



夢を持つ大切さ 三井住友銀行 納谷巧さん

の全国大会を見に行っただ。そこで、涙が出るくらい熱い試合を見た。自分の見ている世界は少しずつ変わっていく。現在、銀行員の職務は、法人の企業価値向上のために銀行が出来るサポートをするということ。私は、創業者の思いが形となっている企業の夢や目標をさらに膨らませ、実現させていく手伝いをしたい。また、Tsukuba Clubの監督としてクラブの夢や選手の夢を叶えていきたい。これが今の私の夢でもある。



新型MRIと巨瀬勝美教授(左)と平田晋也さん

スポーツの舞台裏

第6回 コーチング

スポーツ選手の育成に欠かせないのが、一番身近で共に苦難を乗り越えていくコーチである。だがコーチの行うコーチングとは、スポーツ選手にとつてどのような役割を担っているのだろうか。

トレーニング論について研究を行っている村木征人教授(体育)は、コーチングを選手養成過程において「プラスの可能性を最大化し、マイナスのリスクを最小化して、選手及びチームの最高業績

開くには、限界寸前の「追い込み」が不可欠で、その結果のプラスマイナスは、正に表裏一体の紙一重の境いだ。

コーチは選手らの境界への挑戦への情熱を駆り立てると共に、表裏一体

選手の優れた力を引き出す

セルフコーチング力向上を

結果だけ見れば、前者は超過回復、後者はオーバートレーニングと明確に区別される。だが、この両極の結果をもたらすトレーニングのプロセスは、直前までは全く同じだ。前人未到の突破口を

にあるリスクマネジメントへのクールな見極めを行うのもコーチの役割であり、大きな責任である。ただ、コーチング対象となる選手には、コーチ自身もだが、発達段階があり、芸道や武道で指導によって蓄積された

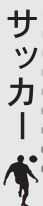
データのコーチによって継承され、次の代へと受け継がれていく。コーチとして必要な資質は「良い体育教師であることだ」と村木教授は話す。まず、教育的な基盤があることが前提条件であり、こ

ある。また、選手の手をそぶりや仕草を凝むこともコーチには重要である。反対にコーチには選手に実際の動きをやって見せたり、振り出す技術(師範)も必要となる。

村木教授は「セルフコーチングをして、スポーツを一生懸命のものにしてほしい」と語った。体育の授業が必修科目である本学は、選手と一般人がスポーツを共有している良いモデルケースなのではないだろうか。(本紙・柏零II社会学類)

本学蹴球部が準優勝

決勝で中央大に惜敗



第57回全国大学サッカー選手権大会が、昨年12月20日〜1月11日にかけて、国立競技場(東京・新宿区)などで開催された。寒空の下、16大学による熱戦が繰り広げられた。本学蹴球部は、3年ぶりの出場で5度目の決勝進出を果たす快進撃を見せ、準優勝に輝いた。

本学は準決勝まで順調に勝ち上がった。準決勝の相手は圧倒的な強さで関東リーグを制した流通経済大学。しかし、その相手に対して、ロスタイムで主将野本泰崇(体専4年)が劇的な同点ゴールを決めるなどして、PK戦の末に下し、5年ぶりの決勝進出を果た

した。迎えた決勝戦、相手は中央大学。本学は前半フリーキックから永芳卓磨(同)がゴール前上げたボールが相手に当たると、そのままゴールへ。本学が、相手のオウンゴールで先制する。

しかし、その後コーナーキックから同点に追い付かれ、さらにミドルシュートも決められ、逆転を許して前半を折り返す。

後半、本学は必死の反撃を見せるも相手の堅守に阻まれる。同点のチャンス

だったPKを外したことも響き、そのまま試合終了。惜しくも準優勝という結果で大会を終えた。

風間八宏監督は「個々が心・技・体すべての面で大きく成長した1年だった。だが、もう少し上を目指すには技術が足りなかった。そこをどこまで追及できるかが課題だと思」と振り返った。



得点を決めて喜び合う小澤司(右・体専2年)と原田圭輔(同)

全日本総合ハンドボール選手権大会

女子 雪辱ならず3位

男子 善戦も2回戦敗退

学生、社会人クラブ、実業団が競い合い日本一を決める、全日本総合ハンドボール選手権大会が昨年12月17〜21日、いわかわ総合スポーツセンター(石川・金沢市)を会場に行われた。

本学女子は準決勝で石川県をホームとする実業団、北國銀行に敗れ3位。男子は善戦するも2回戦敗退となった。

女子は2回戦、広島メイプルレッズと対戦。前半は

高橋恵(体専4年)、石野実加子(同2年)、山野由美子(同)の活躍が光り、開始13分には7-2とリードした。その後もスピードのある攻撃で得点を重ね、23分過ぎ、13-5と8点差が開いたところをたまたまミスが連続し、18-9で前半を折り返した。

後半、本学は前半での遅れを取り戻すかのようによくペースで得点を重ねた。しかし北國も大幅リードに気を抜かず、後半は前半の勢いを維持したまま14-6で前半を終了した。

後半本学は3連続得点からスタートするなど、その勢いを緩めなかった。メイプルも8分過ぎから4連続得点と反撃に出るも、その差はなかなか縮まらない。15分からは一進一退の展開。しかし前半のリードが大きくものをいい、22-15で本学が勝利した。

準決勝は、国体決勝で敗れた北國銀行とのリベンジマッチとなった。試合開始から北國銀行が闘志あふれたプレーを展開。本学は右立の好リードから黒木聡子(同)のサイドシュートで応戦するも、北國の守りに苦戦を強いられた。残り5分からは高橋、黒木の得点で互角の展開に。しかし点差が縮まらないまま18-9で前半を折り返した。

後半、本学は前半での遅れを取り戻すかのようによくペースで得点を重ねた。しかし北國も大幅リードに気を抜かず、後半は前半の勢いを維持したまま14-6で前半を終了した。

インカレ

女子 無念にも4位

男子 3回戦で敗退

大学バレーボールの日本一を決める全日本インカレが、昨年12月1〜7日にか

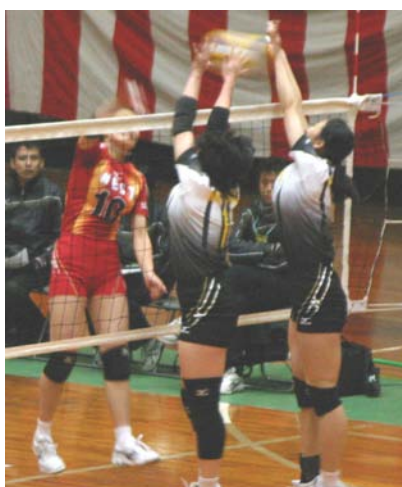
けて、東京体育館(東京・渋谷区)などで行われた。本学女子は準決勝、3位決定戦で敗れ4位、本学男子は3回戦で敗退した。

前回決勝で敗れ、2004年以来の日本一を逃していた女子。ここまで無冠ではあったものの、優勝候補として今大会に臨んだ。しかし、準決勝で秋季リーグで1勝1敗だった東海大学にストレートで敗

れた。3連続ポイントを取らなかつた。3位決定戦では、一昨年の決勝で敗れた嘉悦大学と対決。今シーズンは春季リーグ、東日本インカレ、東西インカレで立ち振るわなかった因縁の相手だったが、秋季リーグでは久しぶりに勝利を挙げた。迎えた第1セットは、主将の水田裕未(体専4年)や皆本明日香(同3年)らが中心となって得点を重ね、中盤に逆転

した。しかし、最後に再逆転を許し、23-25で落とした。第2セットは序盤リードをしたものの、中盤に追いつかれ、最後は競り合いの末に23-25でセットを奪われた。

後がなくなった第3セットは、中盤以降に引き離された。3連続ポイントを取らなかつた。3位決定戦では、一昨年の決勝で敗れた嘉悦大学と対決。今シーズンは春季リーグ、東日本インカレ、東西インカレで立ち振るわなかった因縁の相手だったが、秋季リーグでは久しぶりに勝利を挙げた。迎えた第1セットは、主将の水田裕未(体専4年)や皆本明日香(同3年)らが中心となって得点を重ね、中盤に逆転



ブロックをする水田(右)(東西対抗戦にて)

今年度も本学の体育会は、各方面で自覚ましい成績を残した。日本一に輝いた団体。世界の強豪と渡り合った選手。そして選手を支えた運営委員。今年度の彼らの業績を表彰する体育会賞が発表された。来年度は彼らの活躍が期待される。

東西の大学生代表が一堂に会して対戦する、全日本バレーボール学生選抜東西

対抗戦2008が、昨年12月13、14日に早稲田大学記念会堂(東京・新宿区)で開催された。本学からは男子の鈴木悠二(体専4年)、女子の水田裕未(4年)、皆本明日香(同3年)、渡邊美穂(同2年)が東軍代表として選出された。

東軍男子は北京五輪日本代表の清水邦弘(東海大学)、福澤達哉(中央大学)らの活躍もあり、第1日、第2日もストレートで西軍を下した。東軍女子は第1日こそフルセットの末に西軍に敗れたものの、第2日は3-1で勝利した。第2日は水田がその日最も活躍した選手に送られる、ファイナルプレー賞を受賞した。

2008年度 体育会賞

今年度も本学の体育会は、各方面で自覚ましい成績を残した。日本一に輝いた団体。世界の強豪と渡り合った選手。そして選手を支えた運営委員。今年度の彼らの業績を表彰する体育会賞が発表された。来年度は彼らの活躍が期待される。

- 【剣道】第27回全日本女子学生剣道優勝大会女子団体 優勝 伊部尚子(体専3年) ベルギー国際大会 女子48kg級 3位/栗野靖浩(体専2年) ベルギー国際大会 男子73kg級 優勝/秋元希星(体専4年) 全日本学生柔道体重別選手権大会 男子60kg級 優勝 講道館杯全日本体重別選手権大会 男子60kg級 優勝/小倉武蔵(体専1年) 全日本学生柔道体重別選手権大会 男子66kg級 優勝【トライアスロンクラブ】志水美咲(生資3年) 第13回全日本大学トライアスロン選抜大会 優勝【陸上競技部】日本学生陸上競技対校選手権大会 男子総合優勝/斎藤仁志(体専3年) 国際グランプリ陸上大阪大会 男子2000m 優勝 日本学生陸上競技対校選手権大会 男子2000m 優勝/山野辺薫(体専4年) 日本学生陸上競技対校選手権大会 女子砲丸投げ 優勝/中村仁(体専1年) アジアジュニア選手権 男子1000gH 優勝【体操競技部】田窪啓太(体専3年) 全日本学生体操競技選手権大会 鞍馬 優勝/大久保奈美(体専2年) 全日本学生体操競技選手権大会 女子跳馬 優勝【体操部】江塚和哉(体専3年) 高橋靖彦(体専4年) 吉永直嗣(工シス3年) 池淵慶(体専3年) 第4回全日本学生ラト競技選手権大会 団体戦 優勝/高橋靖彦(体専4年) 第4回全日本学生ラト競技選手権大会 個人・跳躍の部 優勝/江塚和哉(体専3年) 世界ラトチームカップ(日本代表) 団体戦 2位/古原欽司(医学5年) 世界ラトチームカップ(日本代表) 団体戦 2位/諏訪部和也(体専3年) 全日本エアロビック選手権大会 一般部A 優勝【空手道部】第30回全国公立大学空手道選手権大会女子団体 優勝【水泳部】水落真海(体専4年) 日本短水路選手権水泳競技大会 女子50m自由形 優勝/入江晋平(体専4年) 日本学生選手権 男子1000m バタフライ 優勝【硬式野球部】坪井俊樹(体専4年) 世界大学野球選手権大会 2位【ライフェービング部】山田桃子(看護3年) 全日本ライフェービングプール競技選手権大会 4×25m マネキンリレー 優勝【団体奨励賞】卓球部【運営委員奨励賞】広報局 井原綾子(図情3年) ライフル射撃部/渉外局 山梨以織(体専3年) 卓球部 小柳真弓(知識図書2年) ラグビー部/会計局 澤木恵(知識図書2年) 心身統一合気道会/スポーツ・テニ局 一杉亮(体専2年) 蹴球部/財務局 岡田弘貴(社2年) オリエンテーリング愛好会/企画局 清水諒(工シス2年) 少林寺拳法部 上田将司(工シス2年) 剣道同好会/施設局 河浦智(体専2年) 女子サッカー部/書記局 永岡文弥(工シス2年) フィールドホッケー部 総務局 杉山文乃(体専1年) 女子バレーボール部

嘉納杯ワールドグランプリ

秋元、福見が優勝果たす

栗野、惜しくも準優勝

OB・OGも活躍する

柔道



Gが出場し、優秀な成績を収めた。

日本で行われる唯一の世界大会である嘉納杯五郎杯...

秋元は「勝つてよかった。嬉しい。今大会の実績...

栗野は「昨年最後の試合を優勝で締めくくられて良かった...

福見は「試合開始から慎重な組み手合いが繰り返された...

栗野は「以前痛めた腰がまだ完全ではなかったが、その日の体調は良く、難なく...

福見は「昨年最後の試合を優勝で締めくくられて良かった...

栗野は「昨年最後の試合を優勝で締めくくられて良かった...



秋元希星



福見友子



栗野靖治

世界選手権大会出場へ

男子決勝進出7名

体操



第14回全日本ラート競技選手権大会が、昨年12月13、14日につくばカヒオつくば市竹園で行われた。



決勝で斜転に挑む福原一平さん(生還1年)

ラート競技は直転、斜転、跳躍の3部門に分けられており、その合計点により総合結果が出される。直転はラートを床に対してまっすぐ...

2年連続ベスト8 大会に連続出場果たす

ラグビー

第45回全国大学ラグビーフットボール選手権大会が...

昨年は15人中7人が本学から進出となった。総合結果では、福原一平(生還1年)が準優勝、高橋靖彦(体育・講師)はラート競技...

体操部の練習として、ラートの時間は設けていない。今後も多くの選手が活躍してくれるだろう」と話した。

全国日置流弓道大会

女子が個人・団体で優勝

古式射法の演武を披露

弓道



本学体育会弓道部主催の第20回全国日置流弓道大会が昨年12月20日に本学蓬矢館弓道場で開催された。

女子個人で優勝した白石唯(体育2年)が、団体でも優勝した。



古式射法の演武の様子(蓬矢館弓道場にて)

演武は、日置流の大会であり、この流派に関わる大学や一般の射手が集まった。

また、大会中に腰矢演武という鏝を着た古式射法の演武が披露された。

白石唯(体育2年)が優勝した。個人では女子で白石唯(体育2年)が優勝...

演武の内容は、7人の射手が矢を放ちながら、隊列を崩さないようそのまま規則正しく射つというものである。

全日本大学女子選抜駅伝競走 本学から2人が出場

来年は単独出場目指す

陸上



第6回全日本大学女子選抜駅伝競走が昨年12月23日、日本学生陸上競技連合、テレビ東京の主催により行われた。

本学からは、陸上競技部所属の白石唯(体育2年)と、陸上競技部所属の栗野靖治(体育2年)の2人が出場した。

白石唯は、個人優勝を果たした。

栗野靖治は、個人優勝を目指している。



顔

「矢を射ることがただただ好き。的の中心に矢が刺さる瞬間を見るのが楽しい。」



東西戦で東軍の勝利に貢献 白石唯(体専2年)

白石唯(体育2年)は、東西戦で東軍の勝利に貢献した。白石唯は、弓道に誠実な彼女が、今でも眼を離さず、練習に打ち込んでいる。

状況に流されない集中力

白石唯は、弓道に集中力がある。白石唯は、弓道に集中力がある。白石唯は、弓道に集中力がある。

雨に濡れるアザレア

飛和

雨の公園は、子供たちの声もなく静か。塗装のはげた遊具を見ながら、私はその中を歩く。

あの頃必死に上り登っていた鉄棒は一番高いものでも、今は私の身長と変わらない。ブランコは落ちて泣いたのが嘘のように、地面すれすれの低さ。懐かしくて、どこか変わった大切な場所。変わらぬ植え込みに咲くのは、赤紫色のツツジ。

「あ、この公園は、私が雨の日にここに来たかった理由は、別にある。」

「おね佳子、このツツジを覚えてる？」

雨が降ると、小学生だった私と佳子はこの公園に寄り道して、ツツジの蜜を吸った。甘さはほんの少しで、雨の味が強かったのを覚えている。

雨の公園にひと気はあまりなくて、偶然色違いで買った水色と黄色の傘を差して、元気で大人っぽいイメージがした。

「理央、いきなりこっちは帰ってきたと思ったら懐かしい公園に呼び出すからびっけりしたよ」

あの頃、ここは私たちの一番の遊び場だった。テレビゲームよりも人形遊びよりも、この狭い公園で遊具を使って遊ぶ方が楽しかった。

「ただ、私が雨の日にここに来たかった理由は、別にある。」

「おね佳子、このツツジを覚えてる？」

雨が降ると、小学生だった私と佳子はこの公園に寄り道して、ツツジの蜜を吸った。甘さはほんの少しで、雨の味が強かったのを覚えている。

雨の公園にひと気はあまりなくて、偶然色違いで買った水色と黄色の傘を差して、元気で大人っぽいイメージがした。

「理央、いきなりこっちは帰ってきたと思ったら懐かしい公園に呼び出すからびっけりしたよ」

あの頃、ここは私たちの一番の遊び場だった。テレビゲームよりも人形遊びよりも、この狭い公園で遊具を使って遊ぶ方が楽しかった。



二人一組で、一番仲のいい友達を聞かれたら迷わずお互いの名前を答えた。私の世界には佳子が一番必要で、佳子と二人ずつこの場所で生きていくと思っていた。無

「すっ、一番好きだった。この赤紫色のツツジの花が」

赤紫色の花にそっと触れる。鮮やかな花びらを伝って大きな雫が私の手のひらに落ちる。

「どういっしょ小学生の頃、理央と二人この花食べたっけ」

佳子が私に笑って答える。大人びても、空気をあつたかしてくる瞳もほっとも変わらな

い。きつと今、私も佳子に負けないうら笑っている。

「佳子、実はね私、就職決まったんだ。向こうで頑張ってるよ」

邪気な甘さと鮮やかな色の花に近づき、私と佳子は二人だけの儀式をしている気分だった。

あの頃はいつも佳子と

学生も文学界

3R1ECCOCYCIE08-09

卒業生の生活用品を新入生に循環型社会目指す

全学学類・専門学群代表者会議(全代会)と環境サークルエコロンジャーで構成される「3R1ECCOCYCIE08-09」は現在、新入生に提供するための物品を募集している。今年も教職員や卒業生のほか、宿舍退去者に向けての募集にも力を入れている。

「3R1ECCOCYCIE08-09」は、「Reduce」「Reuse」「Recycle」の「3R」に「Respect」を加えた「3R1E」をコンセプトに、年度末に不要になった家具・家電などの生活用品を回収し、新入生に無料で提供するプロジェクト。環境への関心の高まりを背景に、卒業生が使用した生活用品を新入生に提供し、さらにその新入生が下級生に引き継ぐという「循環型社会」を実現するのが狙いだ。

回収する物品は冷蔵庫、電子レンジなどの家電や、衣袋ケース、棚などの家具が主な対象。昨年3月10日以上の物品を回収し、約100名の新入生に提供された。今年は昨年需要の多い

「おね佳子、このツツジを覚えてる？」

雨が降ると、小学生だった私と佳子はこの公園に寄り道して、ツツジの蜜を吸った。甘さはほんの少しで、雨の味が強かったのを覚えている。

雨の公園にひと気はあまりなくて、偶然色違いで買った水色と黄色の傘を差して、元気で大人っぽいイメージがした。

「理央、いきなりこっちは帰ってきたと思ったら懐かしい公園に呼び出すからびっけりしたよ」

あの頃、ここは私たちの一番の遊び場だった。テレビゲームよりも人形遊びよりも、この狭い公園で遊具を使って遊ぶ方が楽しかった。

反響

昨年発行された本紙12月号の事故記事と、「留学生の目」に対し、それぞれ読者(本学教員)と本学附属図書館から反響が寄せられた。

自転車事故

前号掲載の、自転車事故に関する記事の表紙に違和感を持った15メートル飛ばされたにもかかわらず、怪我ですんだことは不幸中の幸いであり、命にかかわる事態ならなかったことは喜ばねばならない。

図書貸し出し

「貸出カードを発行するとき、電話番号など共にメールアドレスを登録

自転車の安全な利用を

改正道路交通法では、自転車の安全利用に関するものが主となっており、環境の面からも、健康の観点からも価値を認められている自転車について、互いに安心して安全に使いこなせるようにしたいものだ。(吉田章教授・体育)

返却期限メールで連絡

「本の返却が遅れたとき、罰金を課す制度を導入すべき」との意見について、

未だ逃亡中

女子学生が午後一時ごろ追越宿舎周辺で、男に執拗に声をかけられるという事件が昨年10月に発生した。女子学生はその場から逃げ、通報。警備員が巡回したが、男は発見されなかった。男は20歳くらいで、短髪、身長は約170センチメートル。

懲戒審査委員会設置

セクハラ問題 迅速な対処へ

本学は教員によるセクハラなどの不祥事に速やかに対処するために、新年度から懲戒審査委員会(仮称)を常設することになった。

これまでは、教育研究評議会に個別事案が届いた後に調査委員会が発足していた。新体制に移行すると、調査委員会をその都度招集する必要がなくなる。

吉武副学長は「これからより機動的に動ける」と話している。

「心技体」で就職難に道を

「就職難」は、幸か不幸かこの言葉が突き刺さる年代に生まれてしまった。主観のみではなく、客観的なデータが現実の厳しさを教えてくれる。日経就職ナビ2010による就職活動状況調査では約99%の就職活動生が就職戦線を「非常に厳しい」「厳しい」と回答したとある。かという私も就職活動生

不審者出没

女子学生が午後一時ごろ追越宿舎周辺で、男に執拗に声をかけられるという事件が昨年10月に発生した。女子学生はその場から逃げ、通報。警備員が巡回したが、男は発見されなかった。男は20歳くらいで、短髪、身長は約170センチメートル。



いばらきビジネスプランコンテスト

本学院生が奨励賞を受賞

県内でのプラン提唱する

茨城県内でのビジネスプランを募集し、優秀なプランを表彰する「第1回いばらきビジネスプランコンテスト」が開催され、表彰式が昨年11月28日に水戸京成ホテルで行われた。

本学院からは高橋弘さん(スポーツ健康2年)と、早川公さん(国際5年)と松浦美奈子さん(世界遺産1年)の2人組がコンテスト部門の奨励賞を受賞した。

本コンテストは茨城県内で創業を目指す人や、新たな分野に事業展開を目指している中小企業などの人たちに、ビジネスプランを募集し、優秀なプランを表彰するものだ。また、あ

アスレチック・ガーデン会議

新たに造る「開かれたガーデン」



参加者たちが企画を発表・検討した(体芸食堂にて)

芸術・体育・食の融合目指す

体芸食堂南庭リニューアル

共通科目「大学を開く」は、同演習の受講生であるアートデザインプロデューサー「アスレチック・ガーデン・プロジェクト」のメンバー。昨年12月18日(アスレチック・ガーデン会議)が開催された。会議を主催したのは、教職員や学生などお

は、同演習の受講生であるアートデザインプロデューサー「アスレチック・ガーデン・プロジェクト」のメンバー。昨年12月18日(アスレチック・ガーデン会議)が開催された。会議を主催したのは、教職員や学生などお

就職活動支援コーナー

秋葉原ダイビルに設置

就活のために東京に行く本学生の悩みの一つが、会社訪問や面接の間の「空き時間」の過ごし方だ。

そんな学生のために、本学法科大学院がある秋葉原ダイビル(東京・千代田区)内に、就職活動を行う学生のための「就職活動支援コーナー」が設置されている。本学就職職員も週3日勤務している。

ダイビルはJR秋葉原駅前広場側にある高層ビル。「就職活動支援コーナー」は、14階の法科大学院学生のためのラウンジの奥に設置され、パソコン2台と就職関連本や資料などが置かれている。

利用時間は月曜日から金曜日の午前10時から午後5時まで(祝祭日を除く)。パソコンの利用には統一認証システム(ID・パスワード)が必要。就職情報の検索の他、エントリーシートを送ることも出来る。

また、待ち時間を利用して就活生同士の情報交換も出来る。なお、施設内の食事は出来ない。

問い合わせは学務部就職課 029-8553-2254、ダイビル内の東京オフィス 050-5518-2648

らゆる面でのビジネスパートナーとの出会いの場も提供している。

コンテスト部門とプレゼンテーション部門の2部門が設けられており、それぞれ22件と11件の応募があった。コンテスト部門では2プランが優秀賞を、3プランが奨励賞をそれぞれ受賞した。プレゼンテーション部門では、4つのプラン発表企業に選ばれた。

高橋さんのプランは「水中歩行運動を取り入れた介護予防サービス」&健康増進事業」というものだ。これは、科学的な介護予防プログラムが実践できる介護予防サービス施設を健康増進施設と複合経営することで、利益を出すという

みが続いている。今回の会議では、体育と芸術それぞれの専門分野の教授を招き、体育・芸術・食を結びつけていけるような企画を発表・検討した。

最後に行われた意見交換会では、「ガーデンには舞台のようなブレイクなもののみを設置し、そのほかは用途によって付け足すようなフレキシブルな所にしてみては」という意見などが出た。

会議に参加した女子学生は「これから南庭がどのように活用されるのか楽しみになった」と感想を話した。

う理念に基づいている。そしてさらに介護職員の定着率を高めるような事業運営を目指す。また、起業して科学的な介護予防プログラムを実践できる施設を日本中に作ることを目的としているという。

高橋さんは受賞について「茨城県に認めてもらえたということが、プランに自信を持てた。このプランを基にこれから起業していきたい」と思っている。今回はその一歩を踏み出すための自信と課題を得られた。つ

外務省説明会

卒業生が語る外務省の魅力

予定時間を超す盛況ぶり

外務省や外交官の仕事を紹介する「外務省説明会」が、昨年12月17日、本学3K102教室で行われた。本学の国際総合学類

を卒業し、現在外務省に勤めている舟津龍一氏が実際の仕事内容を語り、採用に関する説明などを行った。会場には約40人が訪れ、最



本学生の前で話す舟津氏

ばは起業しやすい環境にあると思つたので、もっと起業ムードを高めていってほしい」と語った。

早川さんと松浦さんは「コミュニティ・ビジネス」を念頭に置いてプランを考えたという。

早川さんは「このプランを軸にいずれは起業したい」と考えている。今回の受賞はさまざまな面で1つのきっかけになった。アウトプットを評価してもらうことと空きの古民家が存在することに注目した。

THK(筑波放送協会)

メッセージを電波に乗せる

THKはテレビやラジオを始め、本学のイベント放送を一手に引き受けているサークルだ。さまざまな角度から自分たちのメッセージを電波に乗せ、発信し続けている。

メンバーたちは映像局、音響局、アナウンス局、イベント局の4つの部局に分かれそれぞれ活動をしている。しかし、一人ひとりが何かをやる、という担当がはっきり決まっていなくて、いろいろな仕事をみんなで行っている。挑戦できる。あ

雑談中の何気ない一言がきっかけでコンセプトが決定することもある。そして面白そうなネタを実現可能な範囲で具体化し、それを通じてみんなのメッセージを伝えていきたいのか、という議論に移る。映像的に面白いか、季節感を演出したものに

日(roots)と編成で交代)、午後9時半から30分間の放送番組「TURN」をラヂオつば(84.2MHz)で担当している。

また、テレビでは毎月第一月曜から1週間、21時半からの30分番組「P-WAVE」を

「3、2、1、キュー」という声とともに、談笑していたメンバーの顔が変わる。それは公園であったり、橋の上であったり、はたまたラジオ局であったり。収録の際には緊張の瞬間が必ず訪れる。THK—筑波放送協会のワンシーンだ。

THKはテレビやラジオを始め、本学のイベント放送を一手に引き受けているサークルだ。さまざまな角度から自分たちのメッセージを電波に乗せ、発信し続けている。

メンバーたちは映像局、音響局、アナウンス局、イベント局の4つの部局に分かれそれぞれ活動をしている。しかし、一人ひとりが何かをやる、という担当がはっきり決まっていなくて、いろいろな仕事をみんなで行っている。挑戦できる。あ

雑談中の何気ない一言がきっかけでコンセプトが決定することもある。そして面白そうなネタを実現可能な範囲で具体化し、それを通じてみんなのメッセージを伝えていきたいのか、という議論に移る。映像的に面白いか、季節感を演出したものに

ものではない」と強調した。また、「入省には海外経験が必要なのか」という質問に対し、「入省時に海外経験が豊富な人は少ない。入省後、省の研修制度を利用して海外での経験を積み込む人が多い」と答えた。

説明会に参加した国際総合学類3年の男子学生は「実際に外務省で働いている方から話を聞けてとても参考になった」と話した。

その時はカメラマン兼プロデューサー、またある時は出演者として活躍できるのだ。

そんな彼らの企画会議では活発な意見の交換がなされる。例えば番組制作。各メンバーが温めてきた企画を全員で共有し、ひとつの「番組」としての形が見えてくる。

「民間のラジオやテレビで番組を持っていることはとても恵まれている」と比嘉健太さん(工1年)は話す。ラジオでは毎週第2、4金曜

個人が自由に演技する撮影は和やかな雰囲気だ。進むが、締め切り前の部屋(デボ)はヒリヒリする。バラエティ番組の編集であっても、最初は笑いが絶えないが、同じシーンを繰り返してみるため笑えなくなる。うまく編集が進まない時も、15キロやせたいという人もいます。

「制作側が楽しみたい自由に描くのはもちろん、不特定多数の視聴者やリスナーを意識しながら質を向上させていきたい」と鈴木康右さん(物理2年)は語る。アットホームな雰囲気の中、私たちが大学生の考えを反映する、親しみのあるものにしたい。(本紙・光安素子II人文学類)

交通事故

学生同士の事故

意識不明重体に

本学日仏研修生の外国人女性が1月20日午後8時ごろ、追越宿舎東側の市道を歩行中に、本学院生の男性が運転する自動車にはねられ、車体の下敷きとなり、意識不明の重体。女性は横断歩道ではない所を横断中

だった。「女性が、自動車に引き込まれるようにひかれていた」と目撃者は話す。レスキュー隊によって救出された女性は、メディカルセンターに搬送され一命は取り留めたものの、現在も意識不明。日仏学類長室文芸・言語専攻事務室、人文社会科学等支援室、生命環境科学等支援室などで、この女性の入院・治療費の募金を受け付けている。

9チャンネル(つばは市のケーブルテレビACC S)で放送している。

撮影技術は研修で引き継ぐが、演技は全「自己流だ」という。役柄によってドレスを身に着けよう感じたと栗田恵里さん(人文1年)と例える。映画やドラマを何十本も見て勉強して自分の中に吸収した人もいます。

図書館耐震工事

本館3・4階が立ち入り禁止

中央図書館耐震改修工事(第2期)のため3月9日以降、本館3・4階が立ち入り禁止となる。工事期間中、本館3・4階の図書は、

新聞縮刷版・復刻版も1階に移動するため、この期間一時利用できない。

春休み図書館

土日、祝日は閉館

春休みに伴い、3月7日(中央・体芸・図情図書)から附属図書館の開館時間と貸出時間が変更される。

2月末までにレファレンスデスクに相談。なお、新館程度立ち入り禁止となる。

分がこれを改善したい」と思い始めた。さらに御澤さんは、韓国人に日本のことを問われても、うまく答えられなかった。「自分が日本

のことが知らなすぎ、悔しかった」という。親

善交流を終え、帰国した御澤さんは日本のことを自分なりに表現しようと、日本の歴史などについて学び始め、原爆が投下された長崎や京都である京都市を訪れた。た

だ経験も、勉強も足りないと認め、努力の結果、外務省に内定した。試験区分は朝鮮語だったが、入省後の担当は主に中国。1月の

内定式で上司から「中国から帰るな」と激励された御澤さん。「本

に在任中は、中国から出るなという。これからどんな歴史イベントに立ち会えるのか、わくわくしている」と期待に満ちた笑顔で語った。

(本紙・宇治田輝の「国際総合学類」)

考古学専攻から外務省へ

御澤 真一郎 さん (人文学類4年)

Who's Who?



パスポートを手に「いざ、中国へ」と意気込む御澤さん

自国の知識不足を痛感 日韓関係の改善を願う

旅行好きの教育実習生に感化されたこともあり、大学1年のときに政府主催の日韓親善交流に応募した。

親善交流では1カ月半にわたり、韓国に滞在した。現地の大学でいわゆ

「内定しました」と「本誌ですか?」予定より遅い外務省からの通知に驚きを隠せなかった。専門職員として外務省に内定した御澤真一郎さん(人文4年)。「面接のとき、噛んだのでダメかと思っていた。

「教科書問題」や「竹島問題」について討論する機会があった。韓国の学生はこうした問題や日本のことを良く知っており、「日本側は勉強不足。まずは、討論の前提となる知識が必要だ」と痛感

魅力を感じたという。御澤さんは親善交流以来、日韓関係を改善したいと考えていた。国家間の問題に携われるのは結局、国の機関だと考え、公務員説明会に参加した。「話を聞くの外務省は予想より『おカタい』所ではなかったので、受けよう」と思った。

努力の結果、外務省に内定した。試験区分は朝鮮語だったが、入省後の担当は主に中国。1月の内定式で上司から「中国から帰るな」と激励された御澤さん。「本

に在任中は、中国から出るなという。これからどんな歴史イベントに立ち会えるのか、わくわくしている」と期待に満ちた笑顔で語った。

(本紙・宇治田輝の「国際総合学類」)

うちわ話

北京オリンピックの銅メダルをとった、競泳男子メドレーリレー。第一泳者の宮下選手は筑波大学の出身でした。この2つの出来事は03年の阪神優勝と同じくらい、一生忘れられない感動的な思い出になりました。今後の活躍を願います。(子馬)

編集後記

新年初めで、そして今年度最後の大学新聞になりました。昨年12月号で引退となった先輩方、本当にお疲れさまでした。

今号の紙面は、岩崎学長や退職教員の方、そして旅立つアスリートたちのインタビューがあり、とても華やかになりました。インタビュー

新人記者募集

編集会議 毎週月曜6時半、編集室 共同研究棟A104

次号は

4月7日(火)

発行予定です

大学図書館書籍部ベストセラー

Table with 2 columns: Rank (1-10) and Book Title/Publisher. 1. ジェネラル・ルージュの凱旋(上) 海堂尊/宝島社. 2. 就活のパカヤロー 石渡謙司・大沢仁/光文社. 3. 悼む人 天童荒太/文藝春秋. 4. オリンピックの身代金 奥田英郎/角川書店. 5. 日本人はなぜ「さようなら」と別れるのか 竹内整一/ちくま書房. 6. イノセントゲリラの祝祭 海堂尊/宝島社. 7. ジェネラル・ルージュの凱旋(下) 海堂尊/宝島社. 8. めづめつ和文化研究所 京都 小栗左多里/二一=ラスロ/情報センター出版局. 9. なぜ「大学は出ておきなさい」と言われるのか 浦坂純子/筑摩書房. 10. 天地人(上) 火坂雅志/NHK.

今月の1位は海堂尊の「ジェネラル・ルージュの凱旋(上)」。

催事

演奏会

平成20年度定期演奏会

2月6日午後3時15分

午後4時15分、春日地区講堂

講演会

第60階的「ミニニティ

基礎研究センター研究談話

2月6日午後3時15分

午後4時15分、春日地区講堂

展覧会

日中芸術交流展

本学と中国美術院の学生

による作品展「平成20年度筑波大学アーツスペース

マジックショー

ウィンターマジックショー

2009

筑波大学マジックダンス

クラブがマジックショーを2月18日午後5時〜午後6時半、大学会館ホールで開催

筑波自然図鑑

リョウメンシダ 撮影地=筑波実験植物園



一見すると葉が裏返っているように見える大型のシダ。見た目は変わっているものの、丘陵地帯から山地帯であれば日本全国どこでも見られる植物である。何も知らないで見ると変わった面白い植物を見つけたようにも思えるが、葉の裏と裏の質感が似ているためそう見えるだけである。なお、寒くなると胞子のうを付けるため、判別が簡単になる。